

**「第2次豊田市文化芸術振興計画（素案）」における
パブリックコメントの実施結果について**

1 概要

（1）実施期間

令和3年11月1日（月）～11月30日（火）

※Eモニターは11月17日（水）～11月28日（日）

（2）寄せられた意見の内訳

提出数 **81** 通（うちEモニター79通、その他2通）

意見数 **86** 件 ※1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理

分類	件数
施策1「多様な鑑賞・体験の機会の拡充」に関すること	35件
施策2「活発な創作活動の推進」に関すること	3件
施策3「活動する人々の連携とまちの活性化への展開」に関すること	9件
施策4「文化芸術の活動を支える基盤整備」に関すること	9件
計画全般に関すること	9件
感想等	21件

2 寄せられた意見とそれに対する市の考え方

※意見の概要は、内容の主旨を損なわない範囲で要約しています。また、計画と関係ない意見や感想等については、市の考え方は示していません。

(1) 施策1「多様な鑑賞・体験の機会の拡充」に関すること 35件

意見の概要	件数	市の考え方
文化芸術を気軽に鑑賞・体験できる機会が増えると良い。	9	コロナ禍では、多くの文化芸術の鑑賞・体験の機会が失われてしまいましたが、一方で、これまでよりも気軽に鑑賞・体験ができるような新たな取組が生まれるきっかけにもなりました。後期計画期間においては、引き続き社会の変化に柔軟に対応しながら、文化芸術の持つ“特別感”を大切にしながらもより一層、“日常”の中で気軽に文化芸術に親しむ機会の創出に努めていきます。
文化芸術は関心があっても敷居が高く感じられるため、気軽に触れられ、親しみやすい鑑賞・体験の機会が必要である。	8	
日常的に、まちなかや地域の身近な場所で文化芸術に触れられると良い。	3	本計画でも、市民の方々が文化芸術を身近に感じ親しんでいることをめざす姿としており、引き続き取組を推進していきます。まちなかでは、参合館等でのロビーコンサートや「とよたまちなか芸術祭」のような様々な取組の充実を、まちなか以外の地域では、交流館や福祉施設等での出前コンサートのように様々な取組の充実を図っていきます。
市民ひとりひとりが文化芸術を自分の生活・人生の営みの一部と感じられているかどうか、感じられる環境にあるかが重要。都市部や山間部では多くの文化イベントが行われているが、交流館や公園など地域の身近なところで感じる環境が足りていないと感じる。	1	

文化芸術に触れることは心を豊かにするため、子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験する機会を多くつくってほしい。	9	今回の改訂では、基本施策の中に、特に子どもの鑑賞・体験機会を増やしていくことを明記しました。コロナ禍で多くの機会が失われている子どもたちに、文化芸術を通して豊かな心を育む機会を多く提供したいと考えています。また、文化施設等で実施している小中学生を対象にした事業や、未就学児から入場できる催しなどについて、効果的に情報を届けられるよう検討し周知に努めていきます。
子育て中の親世代が子ども連れでも一緒に行ける文化芸術の公演や催しをもっと増やしてほしい。	3	
音楽文化はクラシック音楽だけでなくジャズや民謡があるように、どの分野においても、幅広い価値観と触れ合う様々な機会をつくってほしい。	2	本計画の施策1(2)「幅広い分野の文化芸術に親しむ機会の拡充」の参考とさせていただきます。

(2) 施策2「活発な創作活動の推進」に関すること 3件

意見の概要	件数	市の考え方
地元のアーティストの発表機会が増えると良い。	2	地元のアーティストの発表機会の充実は、本市の文化振興にとって大変重要であると考えています。令和3年度には、市制70周年を記念して豊田市にゆかりのある作家の作品購入や展覧会を開催し、地元アーティストを多くの市民の方々に知っていただくことができました。今後も積極的に発表機会の創出に努めるとともに、「少年少女合唱団」、「ジュニアオーケストラ」、「ジュニアマーチングバンド」、「こども創造劇場」のように、将来の文化振興を担う地元人材の育成にも継続して注力していきます。
文化芸術を楽しむ市民のグループなどが、ホール施設だけでなくオープンな場で活発に発表等の活動ができるようになると良い。	1	オープンな場で発表等の活動ができる場所や仕組みについて、引き続き文化芸術活動者等への周知を図っていきます。

(3) 施策3「活動する人々の連携とまちの活性化への展開」に関すること 9件

意見の概要	件数	市の考え方
受け身の鑑賞や体験だけではなく、主体的に芸術の企画・推進に取り組めるような仕組みをつくることは大切で、それがまちの活性化につながる。	2	主体的に文化イベント等の企画・推進にかかわる市民の数を年々増加させるため、引き続き「とよた市民アートプロジェクト」や「とよたデカスプロジェクト」などの取組により、参画しやすい仕組みを工夫しながら、多くの市民参加に結び付けていきます。
文化芸術がよく分からなくても自然と文化芸術にかかわる人口を増やしていくためには、施策3<むすぶ・つなげる>の取組に期待している。人と人、人と場所をつなげるコーディネーターの役割を持つ取組や仕組みが必要である。	1	
家庭だけではなく社会全体で子どもたちに文化芸術に触れる機会をつくるために、学校と連携すると良い。	5	学校との連携は、子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実として大変重要であると考えています。コロナ禍では、希望校が行う施設見学や芸術鑑賞にオンラインを取り入れるなど学校側が選択しやすいよう充実を図っています。今後は、学校への文化活動者派遣やアウトリーチ活動においてマッチング拡大に努めるなど、触れる機会の充実を図っていきます。
文化芸術の取組は成果や効果が見えにくく、他分野(ex 食、環境、子育て 等)と連携することも必要である。	1	本計画の施策3(3)「文化芸術と様々な関係分野との有機的な連携」の参考とさせていただきます。

(4) 施策4「文化芸術の活動を支える基盤整備」に関すること 9件

意見の概要	件数	市の考え方
市民が絵画や書道、陶芸作品などを気軽に展示できる場所が足りていないため、市民グループや個人が気軽に発表できる場所を増やすことが必要。	1	まずは展示可能な場所を知っていただくため、市内の展示専用の施設やギャラリーに加え、展示可能なスペースを有する施設をとりまとめ、周知を行っていきます。 また、市民文化会館では、改修によって展示可能なスペースを新設するなど、市内の展示場所の充実を図っていきます。
市民の興味・関心を掘り起こし、取組を効果的に推進するためには、広報活動を強化する必要がある。	8	興味がある人だけでなく、関心層を増やすために、各文化施設において公演・展覧会・イベント等のメディア掲載をより積極的に働きかけていきます。また、市内の様々なジャンルの文化イベントや活動者を発信する「とよたアートプログラムマガジン（TAP magazine）」を活用し、発信力の強化を図っていきます。

(5) 計画全般に関すること 9件

意見の概要	件数	市の考え方
文化芸術は、必ずしも収益性の高いものばかりではないため、市民にとって必要なものは、行政が支える必要がある。	1	コロナ禍をきっかけに、文化芸術は社会全体にとって必要なものであり人々の生活の中で無くてはならないものと再認識されたと考えています。本市では、美術館やコンサートホール・能楽堂といった文化施設について、初の緊急事態宣言では全国に合わせて閉館したものの、その後はいち早く再開を決め、これまで閉館することなく展覧会や鑑賞事業を継続して実施してきました。後期計画期間においても、引き続き、本市の文化芸術活動が盛り上がるよう様々な取組を行っていきます。
コロナ禍で文化芸術に触れる機会が減ってしまって残念。コロナ禍が終わったら、文化イベントを多く打ち出してほしい。	3	

<p>コロナ禍を契機に、文化芸術もオンラインを活用していくと良い。</p>	<p>3</p>	<p>オンラインの活用により、自宅に居ながら講演会をリモート視聴できるなど、参加方法の広がりにより参加者の規模拡大に繋がられた取組も生まれました。今後も引き続き、オンラインを効果的に活用し、文化芸術への興味・関心層のすそ野拡大を図っていきます。</p>
<p>文化施設を充実させることは大切だが、文化芸術のすそ野を広げるためには、文化芸術に興味のない人にいかに興味を持ってもらうかを考えなければならない。</p>	<p>1</p>	<p>本計画の成果指標1「文化芸術に興味のある市民・児童生徒の割合」にとって、最も重要な視点の一つと捉えており、今後の取組を検討するための参考とさせていただきます。</p>
<p>理念ばかりで抽象的で、具体的な重点施策と狙う実現効果が判然としない。革新的な取組みが見えない。計画をつくる前に、現状の分析と課題を整理する必要がある。</p>	<p>1</p>	<p>本計画では、重点施策は置いておらず、4つの基本施策がすべて重要な施策と考えています。ただし、後期計画期間の取り組むべき課題として、これまで以上に市民の方々の文化芸術に対する興味・関心を掘り起こす方策や工夫が必要であり、気軽に文化芸術に触れる機会や、子どもたちが文化芸術に親しむ機会を拡充していくことが特に重要であると考えています。</p> <p>革新的な取組に関しては、今後の取組を検討するための参考とさせていただきます。</p> <p>なお、現状分析と課題の整理については、計画本編にて整理させていただいております。</p>